

第 2 回 学校評価分析

(第 2 回保護者アンケート結果について)

【1】ニーズ度表（保護者）

アンケート実施日…平成 28 年 12 月 15 日（木）～21 日（水）

回収数……………427 / 602(70.9%) 10% ↑

○ 今回も懇談会の機会（冬季休業前）を利用して行ったため、約 7 割の保護者の皆様に協力をしていただくことができた。前回より回収率はよくなった。ただし、記入漏れが約 10% 程度あるなどの問題があり、記入方法や様式を工夫する必要がある。

○ アンケート項目は前回までと同じく学校教育目標具現化についての学校評価アンケートを実施した。

「めざす生徒像」 ・ 学び続ける生徒 ・ 心身共に健康な生徒
・ 自他を大切にする生徒 ・ 礼節を重んじる生徒

○ アンケート項目

- ①子どもが睡眠時間を十分にとること。
- ②子どもが毎日朝食をとること。
- ③子どもが人権を大切にする気持ちを持つこと。
- ④子どもが学校に通学することを楽しみにすること。
- ⑤子どもが進んであいさつをすること。
- ⑥子どもが授業の内容を理解していること。
- ⑦子どもが毎日家庭学習に取り組むこと。
- ⑧子どもが部活動に休まず参加すること。
- ⑨子どもが学校の行事に積極的に参加すること。
- ⑩学校が子どもの相談にこたえること。
- ⑪保護者が子どもの相談にこたえること。
- ⑫学校が家庭連絡・情報発信を行うこと。
- ⑬子どもの教育に学校・家庭・地域が連携をとること。
- ⑭家庭での会話の時間を持つこと。
- ⑮子どもが自立すること。
- ⑯子どもが学校や学級、家庭や友達に貢献すること。

○ 各アンケート項目を「どのくらい重要だと思うか（重要度）」と「実現できていると思うか（実現度）」に分けて質問を行い、その結果（集計表）を分析した。

○ アンケートの結果より

①「子どもが睡眠時間を十分にとること」について

重要度が高く、実現度が低いため、ニーズ度高くなっている。、7 月よりも上昇している。

1, 2 年生の実現度が下がっており、十分な睡眠が取れておらず心配されているよ

うである。睡眠不足の原因の特定と指導を行う必要がある。3年生は逆に実現度は上がっており、受験生としての生活が安定してきているのではないかとと思われる。

②「子どもが毎日朝食をとること」について

重要度も高い（6.8）が、実現度も高い（6.2）ため、ニーズ度は低い。

朝食を摂ることが大事であることが周知されてきていると考えられる。

学校・学級だより等や新入生向け給食試食会、学校保健委員会研修会等で保護者への周知を図っている。

③「子どもが人権を大切にすること」について

7月より減少している。

ニーズ度が全体、各学年ともに減少。道徳を含めた学校の取組の成果ではと思われる。

④「子どもが学校に通学することを楽しみにすること」について

ニーズ度が1, 2年は上がって、3年は下がっている。

1, 2年は学校生活の中でいろいろなトラブルに直面し、保護者は心配されていると思われる。生徒への丁寧な指導と保護者への丁寧な説明を今後も続けていく必要がある。

3年生については安心して学校に行かせてられる保護者が増えているためだと思われる。

⑤「子どもが進んであいさつをすること」について

ニーズ度が少し下がっている。

7月の結果が高かったので、取組を行った結果がでたと思われる。しかし、まだ実現度は低いので、取組を進めていく必要がある。またこれまで以上に小学校とも連携した取組をする必要がある。

⑥「子どもが授業の内容を理解していること」について

2, 3年のニーズ度は大きく下がっているが、1年は上がっている。

2, 3年生は多くの生徒が基礎的な学力が付いてきたので、授業もわかるようになってきたのではないだろうか。1年生は基礎部分が十分でない生徒が多く、中学校の内容の理解がしにくいのではないかと考えられる。基礎部分の定着が必要である。

⑦「子どもが毎日家庭学習に取り組むこと」について

1, 3年で下がっている。

3年生は受験勉強の時間が上がったために実現度が上がり、結果としてニーズ度が下がったと考えられる。

1年については、学校から出している家庭学習課題のため、家庭で学習している子どもの姿を見て実現度が上がったためにニーズ度が下がったと考えられる。

2年生も同様に家庭学習課題を出しているが、保護者は特に変化を認めていないため、実現度・ニーズ度に変化がないと思われる。ただし、⑥の結果にあるように2年生は子どもが授業内容の理解が出来ていると思われているようなので、家庭学習課題の効果はあると考えてよいと思われる。

⑧「子どもが部活動に休まず参加すること」について

1年生は下がり、2年生は上がっている。

1年生は実現度は変わらないが、重要度が下がったためにニーズ度が下がっている。

1 回目（7 月）調査時では部活動に対する期待が高かったのではないと思われる。
2 年生は実現度が大きく下がっており、部活動に適応できない生徒が多かったと思われる。丁寧な指導と説明を今後も続けなければならない。

⑨「子どもが学校の行事に積極的に参加すること」について

1，2 年生は上がって、3 年生は下がっている。

1，2 年生の実現度は下がり、3 年生のそれは上がっているからである。2 回目のアンケート前に行事が少ないために印象に残っていないからか、本当に積極的に参加できていないかはわからない。ただし、別アンケートで生徒は積極的に参加できたかの設問に 85 % が肯定的に答えている。また、1 回目に比べて 6 % 上昇している。

⑩「学校が子どもの相談にこたえること」について

2 年生は上がって、3 年生は下がっている。

3 年生の下がっている理由は進路等の相談でよく対応できているからだと思われる。2 年生は、⑪でも上がっており、学校も保護者も相談にこたえきれていない。2 年生という時期は難しい時期なのかも知れないが、丁寧な対応を心掛けるしかない。

⑪「保護者が子どもの相談にこたえること」について

1，3 年生は下がって、2 年生は上がっている。重要度は高い。

1，3 年生は自分の子どもの相談にこたえられているようである。しかし、2 年生は保護者自身もなかなかうまく相談に答えられていないと感じているようだ。

⑫「学校が家庭連絡・情報発信を行うこと」について

ニーズ度は低い。

実現度は低いが、重要度があまり高くないためである。

⑬「子どもの教育に学校・家庭・地域が連携をとること」について

ニーズ度は普通。

実現度は低いが、重要度も低いためである。重要度を高めるために、連携を強固にすることと広報していくことが必要だと思われる。

⑭「家庭での会話の時間を持つこと」について

ニーズ度は普通だが、重要度が高い。

重要だと思われており、実現度もそれなりに高い。2 年生は実現度が下がっており、ニーズ度はそのせいで上がっている。やはり 2 年生という時期が難しいのではないか。

⑮「子どもが自立すること」について

ニーズ度が下がっている。

実現度はまだ低い。これは、保護者の見る目が厳しいのかもしれない。

3 年生では実現度は上がっており、本校の教育に満足してもらえているのでと思われる。しかし、ニーズ度はさほど下がっていない。それは、重要度が上がっているためである。

⑯「子どもが学校や学級、家庭や友達に貢献すること」について

ニーズ度が上がっている。重要度は低い。

目標の一つの「貢献」であるが、折り合いをつけ、協力したり協働したりする力は、大事である。もっと広く、保護者に理解してもらう必要がある。